

# 知的創造システム専攻 目標計画シート 平成19年度

氏名(漢字)		氏名(フリガナ)		
学籍番号		コース名	ビジネスアーキテクトコース	
入学年度	平成 年度入学	修了予定年月	平成 年 月修了予定	
研究指導員名		提出期限	平成19年 月 日	
分類	ゴール(修学目標)	履修科目	期間	単位
知的創造システム専攻全体で開発される共通ゴール	<p>自ら研究課題を企画・立案・遂行して、論文形式でまとめ、研究会等でプレゼンテーションを行うことによる独創力の修得</p> <p>修学目標 は、専修科目の研究指導等により達成するものです。</p>	専修科目名	前 後	6
		研究テーマ名		
	<p>知的創造社会で必要とされる基盤ITテクノロジーの実践的知識と操作能力の修得</p> <p>知的財産に関わる基本的な法知識の修得</p> <p>多様な文化・社会・企業の変化・変容のメカニズムを分析して、新しいモデルの設計やビジネスプロセスの実装を行う能力の修得</p> <p>知的創造社会で求められるヒューマンパワーを自己検証し、必要とされる能力の修得</p> <p>修学目標 ~ は、必修科目の講義・演習等により達成するものです。また、修学目標 に関しては選択科目「リーダーシップ特論」により達成することを推奨します。</p>	インターネット特論	前 後	2
		インターネットワーキング特論	前 後	2
		データベース設計特論	前 後	2
		特許・実用新案特論	前 後	2
		セキュリティシステム特論	前 後	2
		ビジネスモデル開発特論	前 後	2
リーダーシップ特論 推奨選択科目	前 後	2		
ビジネスアーキテクトコースで開発されるゴール	<p>ケーススタディや院生の所属する組織などを題材として、外部環境、内部環境分析を行い、基本戦略を明示化し、ビジネスプランやマーケティングプランを策定する能力の修得</p> <p>組織変革、グループワークの仕組みづくり、プロジェクト実行等に関わるマネジメント能力の修得</p> <p>ビジネスプロセスの基本を理解して、ビジネスモデルに応じたビジネスプロセスの選択、設計を行う能力の修得</p>		前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
開発すべきパーソナルゴール	「開発すべきパーソナルゴール」とは、各院生が設定する修学目標です。一つの例として、ビジネスアーキテクトコースに所属している院生が、知的財産系の選択科目を履修することで能力開発をする場合、知的財産に関する能力開発についての修学目標を記載します。		前 後	2
	修了時 修得予定単位数			

# 知的創造システム専攻 目標計画シート 平成19年度

氏名(漢字)		氏名(フリガナ)	
学籍番号		コース名	知的財産プロフェショナルコース
入学年度	平成 年度入学	修了予定年月	平成 年 月 修了予定
研究指導員名		提出期限	平成19年 月 日

分類	ゴール(修学目標)	履修科目	期間	単位
知的創造システム専攻全体で開発される共通ゴール	<p>自ら研究課題を企画・立案・遂行して、論文形式でまとめ、研究会等でプレゼンテーションを行うことによる独創力の修得                      修学目標 ~ は、専修科目の研究指導等により達成するものです。</p>	<p>専修科目名</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>研究テーマ名</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	前 後	6
	<p>知的創造社会で必要とされる基盤ITテクノロジーの実践的知識と操作能力の修得                      知的財産に関わる基本的な法知識の修得                      多様な文化・社会・企業の変化・変容のメカニズムを分析して、新しいモデルの設計やビジネスプロセスの実装を行う能力の修得                      知的創造社会で求められるヒューマンパワーを自己検証し、必要とされる能力の修得                      修学目標 ~ は、必修科目の講義・演習等により達成するものです。また、修学目標 ~ に関しては選択科目「リーダーシップ特論」により達成することを推奨します。</p>	<p>インターネット特論</p> <p>インターネットワーキング特論</p> <p>データベース設計特論</p> <p>特許・実用新案特論</p> <p>セキュリティシステム特論</p> <p>リーダーシップ特論 推奨選択科目</p>	前 後	2
知的財産プロフェショナルコースで開発されるゴール	<p>各国特許制度を理解して国際的な知的財産戦略を立案する能力の修得。                      「創造」されたものを知的財産権として確立させるために必要な実務知識の修得。                      知的財産・法務に関する高度なマネジメント能力の修得。                      ITと知的財産の交錯領域に関する法律・実務能力の修得。                      弁理士業務に必要な法律知識の修得。</p> <p>修学目標 ~ の中から2つ以上を達成することが最低条件です。</p>		前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
			前 後	2
開発すべきパーソナルゴール	<p>「開発すべきパーソナルゴール」とは、各院生が設定する修学目標です。一つの例として、知的財産プロフェショナルコースに所属している院生が、IT系の選択科目を履修することで能力開発をする場合、IT に関する能力開発についての修学目標を記載します。</p>		前 後	2
修了時 修得予定単位数				